蓄電池・VPP事業コンサルティング

再生可能エネルギーや蓄電池、EV（電気自動車）などの分散型エネルギー資源（DER：Distributed Energy Resources）の普及拡大とコスト低減を背景に、これらを活用した次世代エネルギーシステムへの注目が世界的に高まっています。日本においても、GX（グリーントランスフォーメーション）の推進や電力市場制度の高度化、需給調整市場・容量市場など各種市場整備の進展により、DERを活用した柔軟なエネルギーマネジメントの重要性が増しています。

MRIは、蓄電池に関する各種分析実績に加え、エネルギーリソースアグリゲーションビジネスの拡大に向けた関係省庁の委託調査も実施する等、豊富な知見・ノウハウを有しており、蓄電池・VPP事業拡大に向けた諸課題に対し実効性の高いご支援をいたします。

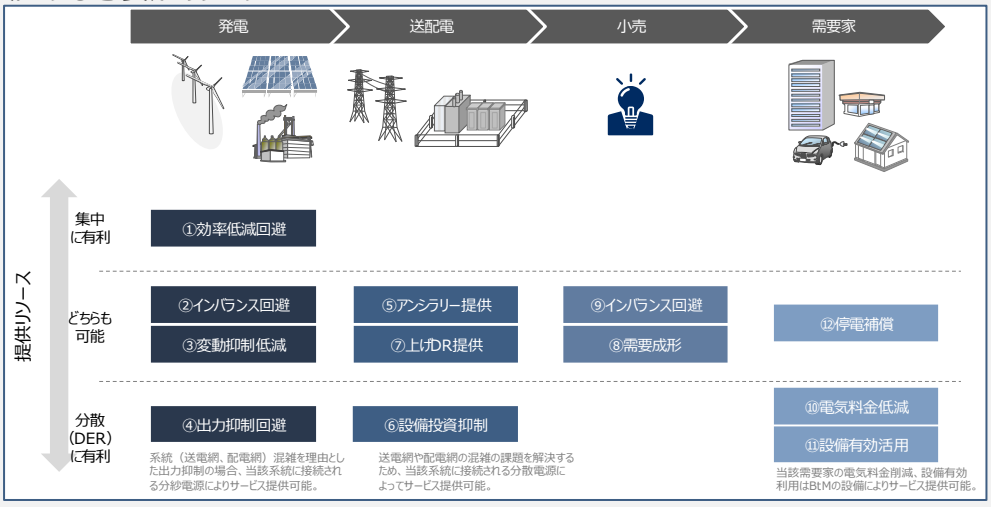
蓄電池・VPP事業検討上の課題	MRIの貢献
1 **いつ、どの程度の規模で、市場が顕在化するか不明** ● 制度依存のビジネスでもあり、制度把握が重要だが、最新動向の把握が手間 ● 公表情報のみでは、国をはじめとした関係者の本音を把握することが困難	**事業機会・市場規模の把握** ● 制度設計の最新状況を踏まえた事業機会の正確な把握 ● 現状の市場動向から想定される、地域別×セグメント別での市場ポテンシャルを推計可能
2 **蓄電池の価格低減の見通しが不明** ● DER活用のKey Deviceである蓄電池の価格見通しが、事業検討には不可欠 ● 現状は他代替技術に比べて高価	**蓄電池コスト分析** ● 原材料の価格動向等から推計される将来トレンドや、需要家向けビジネスから考えられる価格水準の見通し等について、国内外含めた最新情報から推計可能
3 **客観的な事業計画立案が困難** ● 定量的な事業計画が困難 ● 蓄電池・VPP事業単体での事業評価に加え、既存事業とのシナジー検討も必要	**事業戦略コンサルティング** ● 市場セグメント別のマルチユースの組合せや政策動向も踏まえ、定量的な事業性評価可能

MRIは、最新情報をもとに、
蓄電池・VPP事業に対する客観的見立てをご提供可能

特徴　MRIは蓄電池・VPP事業に関する知見・ノウハウを活用し、各種サポートをします

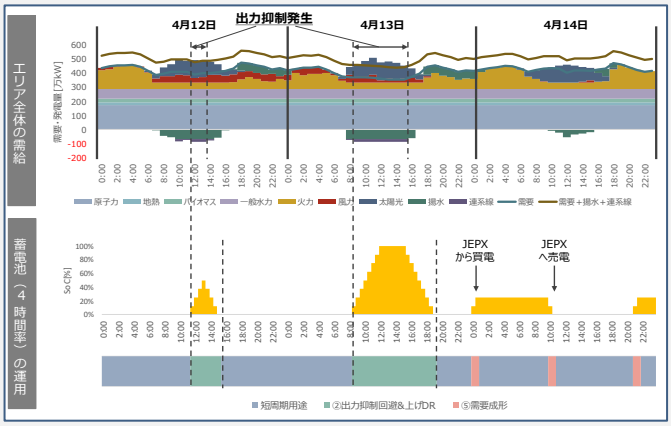
事業機会の把握

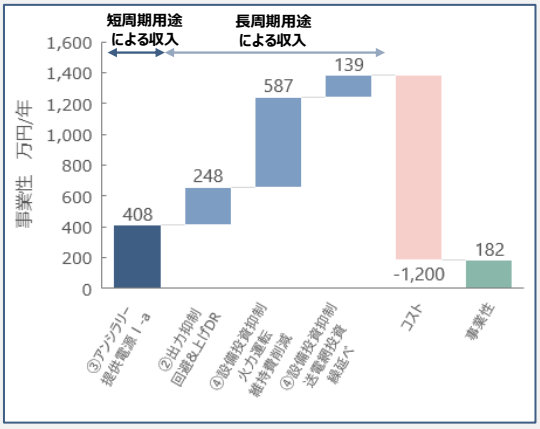
- 蓄電池を活用した事業検討においては、提供リソースの規模や設置場所に応じたサービス提供形態を網羅的に検討する必要があります。



事業性評価

- 事業性評価においては、将来の電力需給の姿の定量的シミュレーションを基に、蓄電池のマルチユースを踏まえた最適運用パターンを導き出し、提供サービスごとの収益を積み上げた評価が可能です。





実績　MRIは、官公庁事業をはじめとして多数の関連調査研究実績を有しています

- ERAB検討会事務局支援業務（資源エネルギー庁）
- 定置用蓄電システム普及拡大検討会事務局支援業務（資源エネルギー庁）
- 分散型エネルギー資源（DER）活用プラットフォーム基盤技術に係る検討（NEDO）
- 諸外国におけるバーチャルパワープラントの実態調査（経済産業省）
- 蓄電池活用ビジネスの事業戦略立案、事業性評価（民間企業）　その他多数

お問い合わせ先

株式会社　三菱総合研究所

営業本部　TEL：03-6858-3493　Email：　service@mri.co.jp

MRI 三菱総合研究所